

留学生として私の感じたこと

ムハムド アミン カンシ
歯学研究科留学生 MD, Amin Kanshi

SELAMAT SIANG! 今日は!

SELAMAT SIANG! 今日は!



私は1985年1月から広島大学歯学部小児歯科学講座に来て4年半になります。広島ではいろいろな経験をしました。全部を述べることはできませんので、今感じていることを書きます。

私は日本に来て最初から不安なことばかりでした。まず言葉がうまく通じないため、皆とコミュニケーションができなく、それに日本の習慣や考え方など、さっぱりわからないことばかりで困りました。そして、日本人は外国人を受け入れるのがうまくない民族のように思います。とくに日本人は外国人と話さない方で、私達となかなか交流できず、お互いに理解することができませんでした。それに日本人の学生はアジアのことをあまり知らない。また世界の動きについても関心が少ない。優秀な日本人がこのようなことでよいのかと疑問に思っております。もっと日本人はアジアの人達のことを知り、お互いに理解を高めることが必要だと感じます。

広島大学が留学生を受け入れようとする大学であれば、もっと留学生のことを理解してくれるものと思っていましたが、実際はそうではありませんでした。もっと留学生の悩みを聞き入れ相談にのってほしいと思います。そこで私は提案するのですが、留学生の悩みを聞いてくれるカウンセラーを大学に置いてもらいたいです。そうすれば留学生はどんなにか心強いかと思います。このことは是非お願いいたします。

私は日本に来て1年後に家族を日本に呼びました。私の家族は妻と小学生の二人の子供です。日本の生活は住居や物価がとても高く、現在の奨学金での生活は大変苦しいものです。もっと留学生が安心して勉強できるシステムを考えてもらいたいと思います。例えば家族の者でもアルバイトなど認めてもらえれば少しは生活が楽になるのではないのでしょうか。

私は不安や不満なことばかり述べてきましたが、日本のよい面もいろいろと知ることができました。

私は去年子供会の副会長に選ばれ、この会の活動には欠かさず参加して、日本の教育を直接知ることができました。

私が最も感じたことは、運動会に参加した時、日本の子供達は赤と白の二つの組に分かれて試合をすることです。インドネシアでは、運動会はあっても一人一人の子供がそれぞれに競い合うことで、決してチームを組んで競うことはありません。日本人は子供の時からチームワークを大切にするのを教えているのだと感心しました。また子供の成績評価でも、日本の評価はよい、ふつう、もう少しがんばりましょうの三つだけです。わるいと言わないのです。これは子供達に協調性を育て、最初から子供の価値をきめないことだと思います。日本の教育はインドネシアとは大きな違いがあります。私は子供から多くのことを教えられ、毎日大学に通っている留学生の気付かないたくさんを感じることができ、祖国に帰って役に立てたいと思います。

留学してくる前から広島の地は平和都市であることを知ってきましたが、広島大学には、平和学科はありますが小規模であります。平

和を訴えるならもっと各方面の勉強ができる場(学部)があってもよいのではないのでしょうか。そして平和に関するあらゆる研究ができることを、世界にアピールすることが大切ではないかと思えます。

最後に、私は来年3月にインドネシアに帰国します。留学生の皆さんに一つ言っておきたいと思えます。日本人は最初は大変に気難

しいけれども、本心で付き合えば、これほど親身になってくれる民族はないと思えます。どうか留学生の皆さん、日本人と親身になり日本のよい点を学び祖国で役立てるようにならうではありませんか。

今後共に日本に来る留学生達をよろしく願います。ありがとうございました。

サークル紹介

“遊ぶ”っておもしろい

— 児童文化研究会 —

児童文化研究会会長 細羽 竜也



私たち児童文化研究会は、その堅苦しい名前とは裏腹に、実は単に“子どもとあそぶ”サークルなのです。みなさんも子どもの時、地域の子ども会やら少年団やらで、夏はキャンプに行ったり、冬はクリスマス会で遊んだりして、楽しい一時を過ごされたと思えます。そこで、私たちのサークルが一体どんなことをしているのかと言いますと、春には春季公演といって、近くの施設に行き、影絵や紙芝居とか、レクリエーションなどをしています。また、春と言えば卒業式や入学式の時期。市

内の地域子ども会の子どものために、卒業入祝い会をしたりもしています。

夏には夏季実践といって、県北の涼しい風の吹く小学校に、影絵、紙芝居、レクを中心とした公演を開きに行きます。また、夏というたらキャンプ。自然美あふれるキャンプ場で、子どもたちとキャンプをやりま

す。冬というたらクリスマス。市内の児童館で、かわいい(?)子どもたち相手に、クリスマス会を開いています。

私たちのサークルは、子どもと遊ぶために一生懸命になっているサークルですが、それだからこそ、とってもおもしろいサークルです。

すぐ泣く子ども、すぐケンカする子ども、文句ばかり言う子どもとか、いろんな子どもと出会いますが、そんな子どもたちの純な気持ちに触れた時、やっぱりこのサークルに入って良かったなって、月並みですけど思えます。私たちのサークルは、そんなサークルです。